

第1学年SS課題研究r1「統計的探究活動」

教員用 授業の流れ

- 1 授業実施場所  
1年生 各教室（主担当はBグループの教員で実施）
- 2 生徒の持ち物  
課題研究メソッド，筆記具，スマートフォン，定規（15～30cm）
- 3 教員の準備するもの  
配布資料「統計的探究ワークシート」，付箋，タブレットPC（貸出）

4 授業展開例

	時間	学習内容・発問例	教員の指導・留意点
導入	5分	<p>ワークシートを受け取る</p> <p>本時の目的を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「足の小指をタンスのカドにぶつける理由」を実験・データ収集・グラフ作成することで考えていく。</li> <li>・統計的探究プロセスの流れを身に付ける。</li> </ul>	<p>ワークシートを用いて、実験方法（step2）、実験結果の送信方法（step3）、実験データの確認方法（step4）を確認する。</p>
展開1	15分	<p>実験</p> <p>教室内の床の細い線、廊下の床の養生テープ（SS委員が授業開始前に貼っておく）を用いて実験する。</p> <p>足元が見えない状態にして一步踏み出したとき、足の外側がどれだけずれるか測定する。</p> <p>実験終了後、SS委員は使用した養生テープをはがす。</p>	<p>ワークシートの活動時間に沿って進めていく。</p> <p>8・9組はサブグラウンド横のスペースも使う。</p>
	時間	学習内容・発問例	教員の指導・留意点
展開2	15分	<p>度数分布表の確認とヒストグラム作成</p> <p>Webでクラス別度数分布表を見て、自分のクラス分のヒストグラムを作成する。Webが正常に機能しない場合は付箋に結果を書き、黒板に貼り付けてヒストグラムを作る。</p>	
展開3	10分	<p>結論</p> <p>ヒストグラムからわかることを記入する。</p> <p>クラスの結果、全体の結果から「自分が思ってるよりも何cmずれて歩いているか」を求める。</p> <p>自分の両足の実験結果はクラス内、学年全体の結果と比べてどうなのか考える。</p>	<p>箇条書きで、わかることを複数記入させる。</p> <p>「最大値・最小値」「分布の傾向」等</p>

ま と め	5分	活動を振り返り、何ができるようになったか確認する。 「身の回りの多種多様な現象を解明するためには、今回のような統計的な探究を行い、統計資料に基づいた判断をしていくことが大切です。」	
-------------	----	---	--

「QRコード読み取り」というwebサイトでタブレットPCでもQRコードが読み取れます。

<https://qrcode.onl.jp/>

実験データ送信用フォーム



実験データ確認用サイト

<https://sites.google.com/view/koyubinozikkenn/>

